

新潟県卓球連盟

卓球便

vol.47

平成28年8月23日

発行人/新潟県卓球連盟
印刷所/(有)フジプリント
(新潟市)

強化遠征費補助事業について



長岡市卓球協会
会長
高野 仁

平成二十七年度から長岡市卓球協会の会長に就任した高野です。県卓連の皆さまにはこれまでも大変お世話になりましたが、今後も、また違った意味でお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

当協会では、昨年度から表記の補助事業を創設し、ジュニア層の強化に取り組んでいます。まだまだ緒に就いたばかりですが、昨年はこの制度を利用して七回の遠征が行われました。今年は、各クラブ単位の遠征のほか七月に協会主導での中国遠征も実施しました。成果が現れるのはこれからだと

と協議すること。

4 補助対象経費

①補助の対象となる経費は、強化遠征に必要な交通費（レンタカーや家用車の借上料は含むが、運転手当は含まない）、ガソリン代、宿泊費、参加費（土産代を含む）のみとし、食費や消耗品費、事務費等は対象としない。

②補助申請額の七割を補助する。

5 補助金の額

次の基準に基づき支給する。
（1）県内遠征：実費支給を基本とするが、宿泊費の上限は一人につき一泊五、〇〇〇円とする。

（2）県外遠征：実費支給を基本とするが、公共交通機関を利用する場合の交通費の上限は一人につき一〇、〇〇〇円、宿泊費の上限は一人につき一泊七、〇〇〇円とする。
（3）海外遠征：遠征先、遠征期間を問わず、一律一人につき五〇、〇〇〇円を基本とする

（4）自動車の借り上げ料については、一回一台二、〇〇〇円とする。
（5）土産代については、三、〇〇〇円を上限とする。

6 補助金の申請および結果の報告

補助金の支給を受けようとする者

7 その他

（1）遠征の責任は各チームであり、協会は一切の責任を負わない。
（2）各チームは実効の上がる強化を図るため、遠征先と十分協議するとともに綿密な遠征計画を立案すること。
（3）必ず保護者の了解を得ること。

思っています。各クラブの努力によって、心技体バランスのとれた立派な選手が育ってくれるように期待しています。
以下、制度の概要をご紹介します。

1 対象者

長岡市卓球協会に加盟登録をしている小学生、中学生および高校生の選手とその指導者であって、何らかのスポーツ傷害保険に加入している者。

2 強化遠征の定義

選手強化を目的にして、長岡市以外で行われる練習会や講習会、指導者研修会等に参加することを言い、大会参加のみの場合は対象としない。回数は制限しない。

3 遠征者の選考

遠征をする選手や指導者の選考は各チームに一任するが、海外遠征をしようとする場合はあらかじめ協会



は、遠征実施日の三十日前までに別紙の申請書を協会に提出するものとする。
また、遠征終了後は、経費の領収書および遠征写真を添付した上で、十日以内に別紙報告書を協会に提出するものとする。

「会員登録システム」のスタート



事務局長
藤田 英彦

コンピュータを活用した「会員登録システム」が、平成二十八年四月各支部事務局のご理解、ご協力を得てスタートしました。

今年度から進めていく登録方法のご理解を得たいと、これまでの経過を記します。

日本卓球協会が本システムを導入し進めていくとした事由は、アナログ登録（紙ベース登録）対応では種々の要請、トラブルに対応できない現代の社会状況が出てきたことです。

① 二重登録等のクレームに対応不可能である。

② アナログ登録（紙ベース登録）では保存管理はできるが、種々の要請（例えば、大会参加条件のチェック、取得段位の把握等）に効率的有効活用ができない。

③ 日本卓球協会は、平成二十一年文科省の立入調査により三十万人



の登録を抱えている団体組織が、アナログ登録（紙ベース登録）では管理できているとは言えない。個人情報保護法実施規定の遵守の上、早急に改善せよとの勧告を受けた。

日本卓球協会では文科省の勧告を受け、登録のデジタル化を二十一年から模索してきました。そのときすでに他競技団体にはデジタル化が進められ、実施しているところもありました。しかし、登録人数の多さの違い、組織構造の違い等で参考にはなりません。日本卓球協会ではそのまま実施できるとは言えず、USB

導入によるシステムの構築から進められました。平成二十三年にアナログ登録（紙ベース登録）がデジタル登録（平成二十四年登録用）に入れられ、本格的に検討されて日本卓球協会の登録デジタル化基盤ができました。平成二十四年（二十五年登録用）、以後は年度ごとに入力されました。

その間、全国登録担当者対象に全国システム講習会等が開催され、本県卓球連盟も参加、情報を本県卓球連盟の組織にどう構築していくか試行錯誤してきました。

平成二十六年、デジタル登録の主旨、操作等を理解いただいたクラブ、中学校、高等学校に協力を依頼し、関係支部の協力のもと実践していただき課題を把握していただきました。日本卓球協会から提供されたエクセルベースの申請書（CD）を全

支部に配布し現状に合わせて対応できる体制でアナログ登録（紙ベース登録）とデジタル登録を並行して実施しました。

平成二十七年にはさらに拡大させるとともに、アナログ登録（紙ベース登録）申請書を日本卓球協会と連携しチェッ

VICTAS The Innovator of the future

V>15

類いまれなる **総合力**

V>15 エキストラ

020461 6,000円+税

Style ——— ハイエナジーテンション裏ソフト
Thickness ——— MAX / 2.0
Color ——— レッド/ブラック **47.5±3**
Made in Germany

ク、修正しデジタル登録を正確化しました。また、平成二十八年度に向けて支部事務局長会議において、二支部から現状と問題点を発表していただき話し合い、理解いただくともにデジタル登録用説明資料、及び平成二十八年度登録用としてUSBに入力した平成二十七年各支部登録データを提供し「会員登録システム」がスタートしました。

今後、臨時支部事務局長会議を開催しました時に、課題を把握、修正を行い、平成二十九年に向けてより良い登録方途を模索していきま

す。各支部の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

大学委員会の活動について



大学委員会
委員長

牛山 幸彦

平成二十六年より新潟県卓球連盟に大学委員会を設置していただき、本年度で三年目を迎えました。大学生が登録する学生連盟の競技活動としては最小単位が北信越となりますので、小学、中学、高校のように県単位で大会が開催されることがありません。そのため大学委員会は北信越学生卓球連盟と密接に関係しており、他の校種の委員会とは異なる性質のものでありますが、県内大学の卓球の活性化という点については共通していると考えております。

これまでの活動は県内大学の卓球部の存在を確認したり卓球部の創部を促したりするなど、大学委員会の組織化を図ってきました。また、小学委員会・中学委員会と連携して開催する「小・中学生強化練習会」では会場とトレーナーの提供を行って

きており、中学委員会及び高校委員会との連携ではそれぞれの強化事業にもトレーナー派遣を行うなど県内ジュニアのレベルアップを担ってきました。県卓連の公式事業以外でも各大学でその地域のジュニア指導も継続して行っております。

一方、競技力の向上についてですが、本年度は新潟大学男女、新潟産業大学男女の四チームが全日本大学総合卓球選手権大会（団体の部）に出場権を得て北信越学連の出場枠のほとんどを新潟県内大学で占めることが出来ました。また、春季北信越学生卓球選手権大会では男子の宮澤僚太選手（新潟産業大学）、女子の公平万由里選手（新潟大学）が三冠を達成しました。宮澤選手の二年連続三冠、公平選手の国立大選手としての三冠は過去に記録がない快挙であることが示すように着実にその成果を挙げております。

そして昨年度は県卓連、新潟市卓連のご協力の下、「二〇一五日本・韓国大学卓球交流戦」を鳥屋野総合体育館において開催し、多くの卓球愛好家に集まっていたいただきました。



本年度は八月二十七、二十八日に第五回「日本リーグ・日学連対抗」卓球ドリームマッチを新潟市東総合スポーツセンターにて開催することが決まっております。（本原稿執筆時）これらも県内の卓球に関心を寄せる

多くの方々にハイレベルのプレーを観戦して頂きたいと考えて準備・運営にあたっており、このような活動も新潟県卓球界の活性化に繋がると信じております。

県内大学の卓球の強化・活性化は県内高校生の頑張りにかかっており、高校は中学、中学は小学生の競技力の向上にかかっているものと思えます。そのため、それぞれのカテゴリーや学校間の垣根を取り払い、一貫した協力体制で県内の卓球の普及と強化を含めた発展に貢献していきたいと考えておりますので関係各位におかれましてはご理解とご協力をお願い致します。

SAN-EI
Les yeux bleus
レジュブルー ● 青の瞳

ブルー卓球台の誕生から四半世紀。新たな色をまとった卓球台の誕生です。澄んだブルーに奥深いグリーンが融合するその色はプレーヤーはもとより、会場、映像、観客のすべてを引き込む次世代の卓球のイメージをさらに躍進させるカラーです。

株式会社 三英
www.sanei-net.co.jp

Crossover Color Debut!

東日本大震災・熊本地震復興支援大会 第5回「日本リーグ・日学連対抗」卓球ドリームマッチ。

日本卓球リーグ実業団連盟と日本学生卓球連盟がカテゴリーの枠を超えて連携し、お互いに切磋琢磨することで日本のレベルアップを図る。また、たくさんの子供たちにトップ選手のプレーを観戦していただき、将来、日の丸を背負う選手が数多く育ってほしいという思いを込めて「ドリームマッチ」というネーミングになりました。

第1回は千葉県東金市、第2回は新潟県新発田市、第3回は秋田県秋田市、第4回は愛知県名古屋市で開催され、第5回開催となる今大会は新潟県の多くの方々のご来場を心よりお待ちしております。



東日本大震災・熊本地震復興支援大会
第5回「日本リーグ・日学連対抗」卓球ドリームマッチ。

日本卓球リーグ実業団連盟と日本学生卓球連盟がカテゴリーの枠を超えて連携し、お互いに切磋琢磨することで日本のレベルアップを図る。また、たくさんの子供たちにトップ選手のプレーを観戦していただき、将来、日の丸を背負う選手が数多く育ってほしいという思いを込めて「ドリームマッチ」というネーミングになりました。

第1回は千葉県東金市、第2回は新潟県新発田市、第3回は秋田県秋田市、第4回は愛知県名古屋市で開催され、第5回開催となる今大会は新潟県の多くの方々のご来場を心よりお待ちしております。

主な出場予定選手
日本リーグ
上田 仁 (協和発酵キリン)
張 一博 (東京アイト)
宋 恵佳 (中国電力)
小道野 結 (アスモ)
日学連
田邊健汰 (専修大学)
町 飛鳥 (明治大学)
鈴木 李茄 (専修大学)
山本 怜 (中央大学)

10:00	10:30-13:50	13:50-14:30	14:30	15:10	15:00-17:00
男子団体戦		女子1	男子1	女子1	ファンサービス卓球交流会
		女子1	男子1	女子1	
		女子1	男子1	女子1	
女子団体戦		女子1	男子1	女子1	
		女子1	男子1	女子1	
		女子1	男子1	女子1	

9:30	10:10	10:50	11:30	12:10	12:50	13:30	14:10	15:00	15:30-16:30
女子2	男子2	女子3	男子3						
女子2	男子2	女子3	男子3	女子準決勝		女子決勝			
女子2	男子2	女子3	男子3		男子準決勝				
女子2	男子2	女子3	男子3						
女子2	男子2	女子3	男子3						
女子2	男子2	女子3	男子3	女子準決勝				閉会式	ファンサービスサイン会
女子2	男子2	女子3	男子3						
女子2	男子2	女子3	男子3	男子準決勝					
女子2	男子2	女子3	男子3						

日本リーグ代表

総監督	伊藤 誠
男子監督	大森 隆弘
男子選手	上田 仁
	笠原 弘光
	森田 侑樹
	張 一博
	松下 海輝
	大矢 英俊
	神 巧也
	藤本 海統
女子監督	松岡 俊志
女子選手	宋 恵佳
	小道野 結
	土井みなみ
	藤井 優子
	牛嶋 星羅
	市川 梓
	阿部 恵
	河村 茉依

日学連代表

総監督	大場 隆雄
男子監督	大元 司
男子選手	町 飛鳥
	宮本 幸典
	定松 祐輔
	上村 慶哉
	酒井明日翔
	藤村 友也
	堀 大志
	有延 大夢
女子監督	久保 陽
女子選手	鈴木 李茄
	山本 怜
	阿部 愛莉
	政本ひかり
	安藤みなみ
	徳永 美子
	後藤奈津美
	中畑 夏海

平成28年度 国民体育大会 **新潟県代表選手・監督**

〈成年男子〉

監督 牛山 幸彦 (新潟大学)
 コーチ 小黒 裕二 (新潟産業大学)
 選手 齋藤 駿介 (新潟産業大学)
 宮澤 僚太 (新潟産業大学)
 王 凱 (東京アート)
 予備登録選手 渡辺 樹 (専修大学)

〈成年女子〉

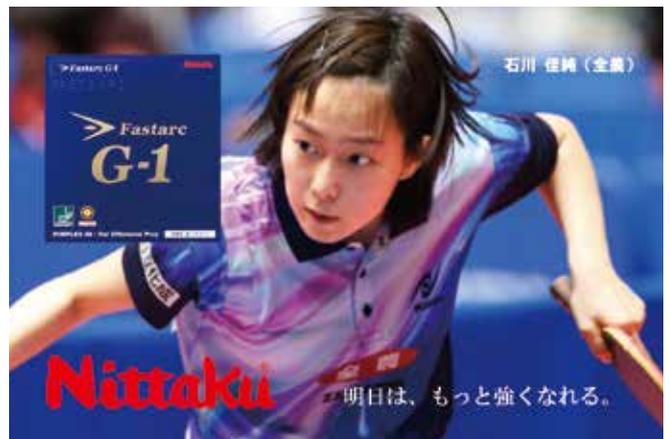
監督 笹岡 光央 (長岡赤十字病院)
 コーチ ー
 選手 笹岡 柁美 (立命館大学)
 王 舒 (東芝メディカルシステム)
 高橋 結女 (サンリツ)
 予備登録選手 田中 友梨 (日本体育大学)

〈少年男子〉

監督 立川 正史 (新潟市役所)
 コーチ 山岸 健弥 (新潟産業大附属高校)
 選手 渡辺 響 (新潟産業大附属高校)
 石山 慎 (開志国際高校)
 龍崎 東寅 (JOCエリートアカデミー/帝京)
 予備登録選手 王 景浩 (新潟産業大附属高校)

〈少年女子〉

監督 堀 雅敏 (開志国際高校)
 コーチ 近藤 功成 (新潟産業大附属高校)
 選手 神林 舞 (新潟産業大附属高校)
 陳 露 (開志国際高校)
 堀 美紀 (開志国際高校)
 予備登録選手 清水 千聖 (開志国際高校)



ラージボール卓球とわたし



新潟県卓球連盟
副会長
長澤 久

はじめに

私のラージボールとの出会いは、平成元年、新潟市豊栄（現北区）で日本卓球協会主催八十九安田火災カップ・第二回全国マスターズ卓球大会（現・全国ラージボール卓球大会）が開催されたときです。前から興味があり、地元で開催されるということで始めたのが最初でした。

初出場のこの大会で、四十才A種目でシングルス第三位となり、翌年秋田大会でダブルス準優勝、第五回大会でシングルス五十代と混合ダブルス一〇〇代を制して二冠を達成した。翌第六回大会でもシングルス五十代で優勝し、二連覇を決めた。

その後、仕事の都合で六年間卓球を離れ、平成十二年より復活しました。

北京・日中姉妹都市の卓球大会で優勝

平成四年、中国北京市で開かれた姉妹都市交流イベント「日中友好卓球カーニバル」に新潟市・ハルビン市代表チームとして新潟クラブの私（当時の年令五十二）と岸和子さん（五十二）が出場した。

カーニバルはスポーツを通じた市民交流を図るもので、日中友好協会が主催しました。

国交正常化二十年を記念して一〇三日の日中姉妹都市混成チームが参加しました。

北京市で十一月三十日から十二月二日まで、友好ラリーを練り広げました。

新潟市チームは、ハルビン代表選手と息の合ったプレーを繰り広げ、予選リーグを三戦全勝で通過。決勝トーナメントでも二戦全勝で、優勝

八チームの一角に食い込んだ。二年前の前回大会では予選落ちだったの

で、見事な「Vスマッシュ」に関係者は「環日本海のスポーツ交流にもはずみがつく」と大喜びでした。我々もベテランらしく試合をこなし、優勝に貢献できたと思います。

新潟日報新聞でも紹介され新潟市

チームの団長を務めた西倉弥芳（故人）・旧沼垂高校教諭の弁は「今回は事前に手紙やファクスで選手の特徴などを連絡し合って、日中即席ペアーの悩みを解消したんです。新潟からハルビンにラケットもプレゼント、遠く離れていても心は一緒、二人三脚でやれた」と振り返る。今回は、姉妹都市交流のパイプを生かした必勝作戦が花を咲かせた。

これから

新潟市卓球連盟主催の新潟オープンラージボール大会は、年二回の開催、今年で十五年を迎え、第三十回の記念大会を行いました。これからも、全国レベルの参加者に喜んでもらえる内容の大会を検討し努力したいと思えます。

また、今後はさらなるレベルアップを目指して、上位を対象にしたサービスレシーブなど細かい技術を学べるような講習会もやってみたいです。

一方、今後の課題は、四十〜五十代のラージ愛好者が少ないので増やすことが急務です。

実際に打ってみるとその世代の人でも面白いという人が多いです。今後は積極的にラージボールの楽しさを勧めていきたいです。

私は、毎週水曜日と金曜日に二時間、新潟クラブの仲間と練習に励んでいます。

得意な技術はフォアハンドです、

最近、フットワークも鈍くなり、年令も上がってきたので、バックハンドの練習に重きをおいています。さらに、裏面バックハンドにも挑戦しようと思います。

そして、今後の目標はもう一度全国大会で、シングルスで頂点に立つことです。

今年の所沢大会、七十五才代ベスト8だったので、バック系技術を強化して、優勝を目指したいです。これからも元気で、八十才過ぎても、楽しく、無理をしないで大会に参加するつもりです。

（この文章は平成二十八年五月号ニッタクニュースに掲載していたものに、この度少し手を加えたものである）

原点回帰

ノングレー時代こそ元祖・高弾性高摩擦ラバー

MARK V へ帰る

Yasaka <http://www.yasaka-jp.com>

平成27年度 一般会計決算書

平成28年3月31日現在

[収入の部]

(単位：円)

項目	H26年度決算(A)	H26年度決算(B)	比較(A-B)	備考
繰越金	5,878,102	7,070,644	△1,192,542	
登録料	11,072,000	11,660,600	△588,600	
団体	1,075,000	1,103,000	△28,000	
新発田支部	80,000	75,000	5,000	⑤5,000×15団体
佐渡	25,000	20,000	5,000	⑤5,000×4団体
新潟	350,000	340,000	10,000	⑤5,000×68団体
三条	100,000	100,000	0	⑤5,000×20団体
長岡	160,000	170,000	△10,000	⑤5,000×34団体
魚沼	35,000	75,000	△40,000	⑤5,000×15団体
十日町	45,000	40,000	5,000	⑤5,000×8団体
柏崎	85,000	85,000	0	⑤5,000×17団体
上越	135,000	135,000	0	⑤5,000×27団体
妙高	50,000	50,000	0	⑤5,000×10団体
大学生	10,000	13,000	△3,000	①1,000×13人
日卓協個人	9,066,000	9,580,600	△514,600	
社会人(一般)	2,048,000	1,971,200	76,800	①1,600×1,232人
(教職員)	432,000	12,800	419,200	①1,600×8人
日学連	156,000	163,200	△7,200	①1,200×136人
高校生	1,530,000	1,611,000	△81,000	①1,000×1,611人
中学生	4,680,000	4,452,800	227,200	⑧800×5,566人
小学生	220,000	240,000	△20,000	⑧800×300人
役員	0	1,129,600	△1,129,600	①1,600×706人
審判登録料	931,000	977,000	△46,000	
国際審判員	15,000	5,000	10,000	⑤5,000×1人
公認フェーラー	30,000	40,000	10,000	⑤5,000×2人
上級公認審判員	15,000	24,000	△9,000	⑤5,000×3人
公認審判員(一般新規)	60,000	114,000	△54,000	⑥6,000×19人
公認審判員(一般更新)	80,000	44,000	36,000	④4,000×11人
公認審判員(高校生)	330,000	375,000	△45,000	③3,000×125人
B級一公認	0	0	0	③3,000×0人
B級	400,000	395,000	5,000	①1,000×395人
大会参加料	6,219,500	6,352,500	△133,000	
実業団	48,000	48,000	0	⑧8,000×6団体
クラブ1・2・3・4部	480,000	416,000	64,000	⑧8,000×52団体
クラブ5部	60,000	78,000	△18,000	③3,000×26団体
ホープスト	30,000	37,500	△7,500	①1,500×25団体
レディースT	80,000	112,000	△32,000	⑧8,000×14団体
W	70,000	90,000	△20,000	②2,000×45組
社会人S	60,000	52,500	7,500	①1,500×35人
W	60,000	50,000	10,000	②2,000×25組
マスターズ	225,000	226,500	△1,500	①1,500×151人
国体成年予選会	67,500	70,500	△3,000	①1,500×47人
少年予選会	550,000	438,000	112,000	①1,000×438人
高校1年生	360,000	340,000	20,000	①1,000×340人
W選手権	400,000	416,000	△16,000	②2,000×208組
会長杯(一般)	165,000	171,000	△6,000	①1,500×114人
(ジュニア)	670,000	704,000	△34,000	①1,000×704人
カデットS	140,000	146,500	△6,500	③300×293人
W	90,000	94,000	△4,000	①1,000×94組
ホープス・カップ・パンビス	70,000	65,000	5,000	⑤500×130人
高校選抜T	300,000	300,000	0	⑥6,000×50団体
S	256,000	256,000	0	①1,000×256人
中学新人T	168,000	168,000	0	③3,000×56団体
S	230,000	224,500	5,500	⑤500×449人
ラジボールS	120,000	136,500	△16,500	①1,500×91人
W	140,000	142,000	△2,000	②2,000×71組
世代交流W	360,000	338,000	22,000	②2,000×169組
県下小学生大会	75,000	64,500	10,500	①1,500×43団体
東京選手権予選(一般)	180,000	211,500	△31,500	①1,500×141人
(ジュニア)	180,000	194,000	△14,000	①1,000×194人
カデット	20,000	23,000	△3,000	⑤500×46人
中部日本選手権予選(一般)	75,000	124,500	△49,500	①1,500×83人
(カデット)	230,000	274,000	△44,000	①1,000×274人
カデット	85,000	35,500	49,500	⑤500×77人
小学生ランキング戦	175,000	302,000	△127,000	⑤500×604人(3大会分)
受託金	1,600,000	1,681,000	△81,000	県体育協会から強化事業委託
国体強化事業(通年強化)	1,000,000	1,049,000	△49,000	
強化スタッフ支援事業	200,000	200,000	0	
新潟ジュニア育成事業	400,000	432,000	△32,000	
補助金	1,520,000	507,332	1,012,668	県教育委員会から
県体派遣	1,300,000	242,740	1,057,260	和歌山県西牟婁郡白浜町開催1種別
北信越国体派遣	190,000	251,660	△61,660	富山県富山市3種別
国体ユニフォーム費	30,000	12,932	17,068	
審判事業収入	17,000	8,500	8,500	
講習会	9,000	2,500	6,500	講習会受講のみ
資料代	8,000	6,000	2,000	ルールブック販売
その他	0	0	0	
繰入金	0	0	0	
諸収入	252,500	396,696	△144,196	
広告料等	112,000	112,000	0	ナナク(28,000)、ニツク(28,000)、タマス(28,000)他(新潟、三条)28,000
特別協賛金	40,000	40,000	0	ヤマド(40,000)
段位取得還元金	100,000	99,204	796	
預金利息	500	1,412	△912	
その他	0	144,050	△144,050	全農杯ホープス・カップ・パンビス/ゼッケン再発行
その他	0	0	0	
合 計	26,559,102	27,677,272	△1,118,170	

[支出の部]

(単位：円)

項目	予算額(A)	決算額(B)	比較(A-B)	備考
会費	485,000	470,000	15,000	
日本卓球協会	100,000	100,000	0	加盟団体分担金・賛助会費
県体育協会	200,000	200,000	0	加盟団体会費
中部日本卓球連盟	40,000	40,000	0	加盟団体会費
全国教職員卓球連盟	20,000	20,000	0	加盟団体会費
中部日本教職員卓球連盟	0	0	0	県負担金
北信越高校卓球	50,000	50,000	0	
北信越中学校合宿	50,000	50,000	0	
北信越卓球連盟加盟金	10,000	10,000	0	県分担金
県アリーナ建設促進会費	15,000	0	15,000	加盟団体分担金
登録料	7,050,400	7,484,680	△434,280	
日本卓球協会	6,213,700	6,647,200	△433,500	
社会人(一般)	1,536,000	1,478,400	57,600	①1,200×1,232人
(教職員)	270,000	8,000	262,000	①1,000×8人
日学連	130,000	126,480	△3,520	⑧930×136人
高校生	856,800	902,160	△45,360	⑤560×1,611人
中学生	3,276,000	3,116,960	159,040	⑤560×5,566人
小学生	154,000	168,000	△14,000	⑤560×300人
役員	0	847,200	△847,200	①1,200×706人
全国高体連	306,000	322,200	△16,200	②200×1,611人
全国教職員	54,000	1,600	52,400	②200×8人
審判員日卓協登録料	290,000	322,500	△32,500	
国際審判員	9,000	3,000	6,000	③3,000×1人
公認レフェリー	24,000	16,000	8,000	⑧8,000×2人
上級公認審判員	12,000	18,000	△6,000	⑥6,000×3人
公認審判員(一般新規)	40,000	76,000	△36,000	④4,000×19人
公認審判員(一般更新)	40,000	22,000	18,000	②2,000×11人
公認審判員(高校生)	165,000	187,500	△22,500	①1,500×125人
B級一公認	0	0	0	①1,500×0人
支部還元金	186,700	191,180	△4,480	②20×9,559人
大会開催費	2,660,000	2,734,828	△74,828	
実業団・クラブ1~5部	70,000	70,000	0	大会主管費
レディース	50,000	50,000	0	大会主管費
社会人	50,000	50,000	0	大会主管費
マスターズ	50,000	50,000	0	大会主管費
国体成年予選会	50,000	50,000	0	大会主管費
少年予選会	90,000	90,000	0	大会主管費
高校1年生	70,000	70,000	0	大会主管費
W選手権	80,000	80,000	0	大会主管費
会長杯一般	60,000	60,000	0	大会主管費
ジュニア	90,000	90,000	0	大会主管費
カデット	50,000	50,000	0	大会主管費
ホープス・カップ・パンビス(T+S)	70,000	70,000	0	大会主管費
高校選抜	100,000	100,000	0	大会主管費
中学生大会	100,000	100,000	0	大会主管費
ラジボール	50,000	50,000	0	大会主管費
世代交流W	50,000	50,000	0	大会主管費
県下小学生大会	50,000	50,000	0	大会主管費
東京選手権予選(一般)	90,000	90,000	0	大会主管費
中部日本選手権予選(一般)	50,000	50,000	0	大会主管費
(ジュニア)	50,000	50,000	0	大会主管費
カデット	50,000	50,000	0	大会主管費
小学生ランキング戦	330,000	328,540	1,460	3大会分(大会主管費)
消耗品費	400,000	338,466	61,534	ボール代等
賞状印刷費等	200,000	299,248	△99,248	賞状印刷代、大会案内・ガキ印刷代
表彰費	300,000	321,000	△21,000	メダル代等
通信費	60,000	72,574	△12,574	郵便代等
雑費	4,500,000	3,830,315	669,685	
通年強化事業	2,000,000	1,715,797	284,203	各種強化合宿・練習会・国体予選会
国体強化事業	1,600,000	1,177,926	422,074	遠征・強化合宿等・国体ユニフォーム補助
優秀選手育成チーム補助	500,000	750,000	△250,000	
優秀選手支援費	240,000	120,000	120,000	
強化部諸活動費	160,000	66,592	93,408	会議費・事務費
国体派遣費	2,960,000	856,382	2,103,618	
本国体	2,500,000	440,394	2,059,606	和歌山県西牟婁郡白浜町開催1種別
北信越国体	430,000	403,056	26,944	高山県富山市開催3種別
国体ユニフォーム補助	30,000	15,932	14,068	
普及費	330,000	289,778	40,222	
表彰費	100,000	53,478	46,522	表彰盾、賞状、謝礼金等
講習会開催	195,000	214,702	△19,702	各種指導者講習会費用
会議費・事務経費等	35,000	21,598	13,402	会議費、旅費、印刷代、事務用品等
広報費	280,000	265,620	14,380	
印刷代	250,000	265,080	△15,080	1000部×(2回発行)
会議費・事務経費等	30,000	540	29,460	郵送料事務経費等
審判部費	590,000	619,368	△29,368	
講習会費用(B級一級)	340,000	356,908	△16,908	高校講習会、研修会
印刷代	165,000	116,000	49,000	ルールブック印刷費
審判員活動費	45,000	60,000	△15,000	遠征補助、会議費
事務経費	40,000	86,460	△46,460	送料、文具
委員会費	500,000	490,742	9,258	
大学	50,000	50,000	0	
高校	200,000	200,000	0	
中学	100,000	91,510	8,490	
小学生	50,000	49,232	768	
レディース	50,000	50,000	0	
マスターズ	50,000	50,000	0	
大会開催負担費	0	0	0	
北信越中学校校舎	0	0	0	
北信越レディース	0	0	0	
運営費	2,512,000	1,999,795	512,205	
印刷費	50,000	50,760	△760	会議資料等
旅費宿泊費	500,000	442,864	57,136	理事会旅費等
通信費	320,000	402,288	△82,288	登録事務費を含む
会議費	200,000	144,005	55,995	理事会会場費・食事費等
事務費	130,000	121,652	8,348	登録事務費を含む
慶弔費	50,000	0	50,000	
国体資金	400,000	0	400,000	
事務局費	540,000	540,000		

平成28年度 大会予定

年月日	大会名	会場
H28 4月 3(日) 17(日) 24(日) 29(祝) 30(土)	県レディース大会 第69回国民体育大会(成年の部)一次予選会 県ベテラン大会・ラージボール 全日本選手権(ホープス・カブ・バンビ)新潟県予選 中部日本選手権大会予選会(一般・ジュニアの部)	亀田総合体育館 三条市栄体育館 未定 サンビレッジしばた 新潟県北地区スポーツセンター
5月 3(祝) 13(金)~15(日) 15(祝) 29(日) 28(土)~30(月)	実業団 新潟県予選会 春季北信越学生選手権大会 兼 全日本大学総合卓球大会(団体)北信越予選会 クラブ選手権 新潟県予選会 県ラージボール大会 県高校総合体育大会	小出郷総合体育館 新潟県西総合スポーツセンター 上越総合体育館 十日町市総合体育館 亀田総合体育館
6月 4(土) 5(日) 12(日) 18(土) 19(日) 23(木)~26(日) 26(日) 30(木)~7/3(日)	国体選手二次予選会(成年の部) 第21回ねんりんピック県予選会 国体少年の部一次予選会 中部日本選手権大会予選会(カデットの部) 県小学生ランキング戦 全日本実業団選手権大会 国体選手二次予選会(少年の部) 全国ラージボール大会	亀田総合体育館 鳥屋野総合体育館 長岡市民体育館 西総合スポーツセンター 新発田カルチャーセンター 長野ホワイトリング 亀田総合体育館 埼玉
7月 3(土) 7(木)~9(日) 7(木)~9(日) 15(金)~18(月) 16(土)~18(月) 29(金)~31(日) 31(日) 31(日)~8/5(金)	県社会人選手権(一般) 兼 全日本予選 全日本大学対抗選手権大会(団体の部)インカレ 春季県ベテラン大会 全日本クラブ選手権大会 中部日本卓球選手権大会 全日本選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部) 県社会人選手権(マスターズ) 兼 全日本予選 全国高校選手権大会(インターハイ)	魚沼・小出郷体育館 島津アリーナ 未定 大阪市立浪花スポーツセンター 岐阜メモリアルセンター グリーンアリーナ神戸 豊栄総合体育館 岡山きびじアリーナ
8月 5(金)~7(日) 5(金)~7(日) 8(日)~11(木) 11(祝) 13(土)~15(月) 13(土)~14(日) 21(金)~24(月) 27(土)~28(日) 27(土)~28(日)	全国レディース大会 夏季北信越学生卓球選手権大会 兼 第83回全日本学生卓球選手権大会(個人)北信越予選会 全国教職員大会 高校1年生大会 全国ホープス大会 北信越国体・北信越選手権大会 全国中学校大会 日本リーグ日学連対抗ドリームマッチ 中部日本選手権大会(カデット以下)	静岡このはなアリーナ 富山県氷見市ふれあいスポーツセンター 北海道立総合体育センターきたえーる 新発田カルチャーセンター 東京体育館 松本市総合体育館 富山竹林記念体育館 新潟東総合スポーツセンター 富山県西部体育センター
9月 4(日) 9(金)~11(日) 9(金)~11(日) 18(日) 22(祝) 24(土)~25(日) 24(土)~25(日)	県ダブルス選手権大会 全日本社会人選手権大会 秋季県ベテラン大会 県カデット大会 県高校新人大会兼全日本予選 北信越レディース大会 東日本ホープス	白根カルチャーセンター 青森市 川西総合体育館 白根カルチャーセンター 柏崎市総合体育館 福井市体育館 ウイングハット春日部
10月 2(日)~5(木) 8(土) 15(土)~18(火) 21(金)~23(日) 22(木)~25(日) 23(日)	国民体育大会 県小学生ランキング戦② 全国健康福祉祭ねんりんピック 全日本選手権大会マスターズの部 全日本大学総合選手権大会(個人) 県硬式選手権大会(会長杯)	奥州市総合体育館 柏崎市総合体育館 長崎シーハットおおむら 函館アリーナ 流山市民総合体育館 柏崎総合体育館
11月 6(日) 12(土)~13(日) 20(日) 19(土)~20(日) 19(土)~21(月) 26(土)~27(日)	県世代交流ダブルス卓球大会 北信越選手権大会(マスターズ) 第28回新潟県スポーツフェスティバルラージボール大会 県高校選抜大会 全日本選手権大会(カデット) 全日本学生選抜	白根カルチャーセンター 伊那市民体育館 吉田総合体育館 亀田総合体育館 山梨・小瀬スポーツ公園体育館 流山市総合体育館
12月 3(土)~4(日) 3(土)~4(日) 11(日) 16(金)~18(土) 24(土)	北信越選手権大会(ホープス・カブ・バンビ) 県中学生新人大会 北信越団体選手権大会 北信越1年生選抜大会 東京選手権大会県予選会(全種目)	富山県総合体育センター 小千谷市総合体育館 富山県総合体育センター 富山 秋葉区総合体育館
H29 1月 16(祝)~22(日) 23(金)~25(日) 28(土)	全日本選手権大会(一般・ジュニア) 北信越高校1年選抜大会 県小学生ランキング戦③	東京体育館 糸魚川 亀田総合体育館
2月 11(祝)	県下小学生卓球大会(団体)	亀田総合体育館
3月 1(水)~5(日) 7(水)~8(日) 24(金)~26(日) 25(土)~28(火) 26(土)~27(月)	東京選手権大会 全国レディースフェスティバル 全国ホープス選抜大会 全国高校選抜大会 全国中学選抜大会	東京体育館 大阪中央体育館 鳥取県民体育館 大阪中央体育館 山形総合運動公園体育館

※黒字…県卓連主催

※緑字…県外大会

※青字…その他の県大会

※赤字…段位が必要な大会